

医歯学総合研究科(修士課程)に関するQ&A

- Q1. 医歯学総合研究科(修士課程)では、どのような人を求めていますか？**
- A1. ①高度医療職人として医療、福祉、医療行政に従事することを旨とする人
②医学、歯学、医療に関する研究に熱心に取り組み、学ぶ意欲のある人
③異分野・異文化に関心を持ち、国際的なコミュニケーション能力のある人
④学士としての確かな基礎学力と専門分野における知識・技能を有する人
⑤主体的に学ぶ態度を身につけ、専門分野に関連する地域および国際社会の諸問題に関心を持つ人
⑥自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲に満ちた人 … を求めています。
- Q2. 医歯学総合研究科(修士課程)へは、医学部や歯学部を卒業していなくても入れるのですか？**
- A2. はい。文科系を含め、どの学部出身者でも受験できます。さらに、通常の出願資格以外に、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない方で入学する年の3月31日までに22歳に達する方も、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科で認められた場合は受験できます。(詳細は学生募集要項をご覧ください。下記問い合わせ先にお問い合わせ願います)
- Q3. 過去に出題された入学試験問題を見ることはできますか？**
- A3. 過去に出題された入学試験問題は、医歯学大学院系の窓口で閲覧することが可能です。なお、複写等による配布は行っていません。
- Q4. 英検やTOEIC等、英語能力試験の資格やスコアがある場合、入学試験で考慮してもらえますか？**
- A4. 英検、TOEIC、IELTS、TOEFL iBTの等級・スコアが一定の基準を満たす場合は外国語試験の成績に対する加点を行います。
- Q5. 学費はいくらかりますか？**
- A5. 受験から入学までに検定料30,000円、入学金282,000円が必要です。また、入学後は授業料535,800円(年額)が必要です。(令和8年度現在)
- Q6. 高度メディカル専門職コースが認定を受けている文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」と厚生労働省「教育訓練給付制度(専門実践教育訓練給付)」とは何ですか？**
- A6. BPとは、社会人のスキルアップや学び直しを目的とした文部科学大臣認定の実践的・専門的プログラムです。専門実践教育訓練給付とは、概要として、対象者(雇用保険支給要件期間が10年以上の者)が認定プログラム(医科学専攻/高度メディカル専門職コース)を受講・修了した場合、受講者の申請によって入学金と授業料の50%を支給する制度です。
- Q7. 会社に勤めているのですが…**
- A7. 医歯学総合研究科(修士課程)に入学する学生の約半数は社会人の方です。授業は主に5限(16:20～)または6限(18:00～)に開講され、また、所属する研究室における研究については指導教員と相談の上、内容と時間を決定しますので、お仕事を続けながら学ぶことができます。
- Q8. 2年間で修了できるか不安があるのですが…**
- A8. 審査のうえ、2年を超えた期間(修士課程:最大4年)での教育課程の修了を認める長期履修学生制度という制度があります。履修期間によらず修了までに必要な授業料の総額は、一般学生と同額となります。ただし、長期履修学生として認定された場合、訓練期間(履修期間)の都合上、Q6記載の教育訓練給付制度対象外となります。
- Q9. 奨学金等の経済的支援はありますか？**
- A9. 多くの大学院生が「奨学金」と学内外の「アルバイト」の組み合わせで生計を立てています。代表的な奨学金として、日本学生支援機構が行っている第1種(無利子)や第2種(有利子)の奨学金があります。大学院生(社会人学生除く)は「ティーチング・アシスタント」という学内の教育補助業務でアルバイト収入を得ています。その他、経済的理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する「授業料免除制度」もあります。
- Q10. 何か資格等は取れるのですか？**
- A10. ①短大卒の方が修士課程を修了すると、大卒資格を求められる県職員などの公務員への受験資格が得られます。
②栄養関連の教育・研究職への応募資格が得られます。(管理栄養士で、修士号の学位を持つ人は少ないのが現状です。)



鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 (修士課程)

医科学専攻 入学案内

入試情報

	一般選抜・社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
【選抜方法】	学力検査(外国語：英語)、小論文	学力検査(外国語：英語)、面接
【入学時期】	4月(4月入学に欠員がある場合に限り人員を流用して10月入学を募集します)	4月又は10月
【試験実施時期・会場】	入学試験は桜ヶ丘キャンパスで実施しています。また、入学試験の結果、第1次募集で募集人員に満たない場合に限り、第2次募集を追加実施します。詳しくは「医歯学総合研究科ホームページ」をご覧ください。	
【進学説明会等】	年3回程度開催しています。開催予定については医歯学総合研究科ホームページをご覧ください。	
最新の入試情報はこちら	https://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/admission/master-course/	

問い合わせ先

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課医歯学大学院係
TEL:099-275-5120 FAX:099-275-5136
E-MAIL: isggdi@kuas.kagoshima-u.ac.jp



<https://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/admission/examination/>



あなたを待っています —未来につながる多様な道—

○医歯学総合研究科(修士課程)医科学専攻の目的○

医科学専攻では、医学、歯学及び獣医学以外の学部学科を卒業した学生や一般社会人を対象に受け入れ、医学や歯学に関する知識・技術を多様な分野で応用して活躍できる人材の育成を目的としています。学生はヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と専門家としての基本的な能力を修得し、広い視野と倫理観を有した人材となることをめざします。

専門家への道(臨床医科学)

- 消化器疾患・生活習慣病学……生活習慣とおなかの病気のサイエンスを学ぶ
- 糖尿病・内分泌内科学……食事×運動×代謝で、治療と合併症予防を考える力を育てる
- 血液膠原病内科学……HTLV-1/ATL 研究を鹿児島から世界へ
- 精神機能病学……精神を科学する
- 心身内科学……環境と心と身体：総合的により良くなるために／文系の方も
- 歯学教育学……根拠に基づく医療者教育実践家の養成
- 生殖形態生理学……女性のトータルヘルスケアを追求する
- 小児科学……For the Children, Society and Ourselves
- 予防歯科学……口腔保健、特に周術期口腔機能管理のできる歯科衛生士を目指して
- 歯科矯正学……口と顔の審美・機能のコーディネーター
- 小児歯科学……子どものお口から全身を考える
- 脳神経内科・老年病学……難病をサイエンスで解決する
- 脳神経外科学……脳腫瘍をゲノムから解析する
- 眼科学……網膜画像を情報に、情報を病態理解に
- 皮膚科学……「見える病気」を研究する
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学……「話す」「食べる」を科学する
- 整形外科……運動器の病態解明と健康寿命延伸への挑戦
- リハビリテーション医学……オリジナルな評価・治療法を世界に発信!
- 血管代謝病態解析学……サイエンスとの出会い、喜びと希望、叶える夢、培う豊かな感性と心
- 心臓血管・高血圧内科学……臓器をつなぐ「生命の源=循環」をサイエンスする
- 呼吸器内科学……呼吸器難病の克服に向けて
- 侵襲制御学……全身管理を追求する

- 救急・集中治療医学……新たな視点から臓器障害メカニズムを探る
- 咬合機能補綴学……歯科補綴物の製作や装着に役立つ接着技術の開発
- 口腔顎顔面補綴学……口腔機能をバイオと臨床研究から再建する
- 歯科保存学……接着歯学と修復材料から歯の保存を追求する
- 歯周病学……バイオロジーに根ざした次世代歯周治療の展開
- 顎顔面疾患制御学……口腔機能から全身の健康を科学し、疾患予防につなげる。
- 口腔顎顔面外科学……顎顔面の形態と機能の再建を科学する
- 歯科麻酔全身管理学……基礎から臨床へ 歯科麻酔の未来を科学する
- 放射線診断治療学……先端画像で拓く診断と治療
- 泌尿器科学……熱く語ろう基礎研究
- 顎顔面放射線学……放射線の細胞への影響に関する研究
- 小児外科学……こどもの未来を創る外科医療
- 心臓血管外科学……日常の何故?を探求する
- 呼吸器外科学……呼吸器外科領域の未解決課題に挑戦する
- 消化器外科学……臨床の疑問を研究で解く。消化器癌の次の一手を創る。
- 乳腺甲状腺外科学……乳腺甲状腺癌のトランスレーショナル・リサーチ
- 臨床腫瘍学……がん遺伝子検査のエキスパート
- 臨床情報工医学……臨床課題を科学し、未来医療へ実装する
- がん診療医学……消化器癌における臨床診療を追求する
- 総合救命救急医学……問いは臨床にありー救命を研究に、研究を次の救命に
- 総合成育医療学……妊娠期から小児期まで、切れ目ない成育医療を
- 総合がん診療医学……がん診断・治療の最適化を追求する
- 総合診療医学……診療・医療での疑問を研究で解明する

研究者への道(基礎医科学)

- 衛生学・健康増進医学……働く人の健康を科学する：栄養学と脳科学の視点から
- 疫学・予防医学……健康課題の“答え”を探し、予防の“かたち”をつくる
- 法医学……死者の声に耳を傾ける研究をしませんか
- 国際歯科・人間科学……Global Oral Health に関連する課題と其の解決策を探る
- 医学教育学……医療者教育学を通して医療の質向上を目指す
- 微生物学……ミクロの世界から、感染症を読み解く
- 免疫学……分子レベルで免疫を理解し、新規治療を考案する
- 抗ウイルス療法研究……各種のウイルス感染症に対する治療開発を自分の手で
- ウイルス情報テクノロジー研究……分子生物学的手法でウイルス感染症を研究する
- 神経免疫学……HTLV-1 感染と神経疾患 HAM を共に探求しよう!
- トランスレーショナルメディスン……基礎研究のその先へ、創薬を実装できる研究者になる
- HTLV-1 / ATL 病態制御学……病態解明から創薬へ：難治性血液がん ATL に挑む
- 医化学……シグナル伝達の異常から疾患にアプローチする
- 口腔生化学……免疫応答シグナルと骨代謝制御機構の基礎医学的研究
- 口腔微生物学……口腔微生物の環境応答を明らかにする
- 地域医療学……健康や医療に関係する地域の課題を研究する
- 形態科学……顕微鏡をのぞいてみませんか?
- 神経筋生理学……最先端技術で解き明かす脳神経回路の発達メカニズム
- 歯科機能形態学……ゲノム時代の形態科学
- 解剖法歯学……臨床に役立つ肉眼解剖学をご遺体から学ぶ
- 遺伝子治療・再生医学……革新的治療法の開発・実用化への挑戦～がんや難病への遺伝子治療と再生医療の研究～
- 統合分子生理学……心と体の不調を乗り越える「意思決定」の脳科学
- 生化学・分子生物学……記憶や情動などの脳高次機能を支える分子・細胞機構の解明をめざす
- 生体情報薬理学……細胞の先に、行動が見える。
- 薬物動態制御学……ビッグデータと機械学習で未来を作りませんかー個別化医療への道ー
- 歯科応用薬理学……薬物の作用機序と生体機能ネットワークを探る
- 口腔生理学……「味覚」と「咀嚼」を科学する
- 歯科生体材料学……歯科医療を支える歯科材料・歯科医療機器の基礎研究
- データサイエンス……膨大な多層データから、ヒト疾患と複雑形質の「深層」を読み解く
- 分子腫瘍学……分子の視点でがん治療の進歩をめざす
- 病理学……分子から病態を理解する 難治性癌の克服に向けて ～診断法の開発～
- 分子口腔病理学……形態と分子が見える口腔病理医としてがんを科学する
- 臓器置換・異種移植外科学……大動物モデルから切り拓く先端移植医療

修業年限 …… 2年

取得できる学位 …… 修士(医科学)

教育の特色

医科学専攻では、入学する学生のニーズに応じて、以下の3つのコースを設定しています。学生は各コースに適合する内容の授業科目により、医科学研究に対する考え方や高度な専門職に不可欠な知識・理論を修得することができます。また、コース毎の実習科目「バイオサイエンス実習」、「高度メディカル実習」を通じて、先端技術の修得を目指します。

先端バイオサイエンスコース

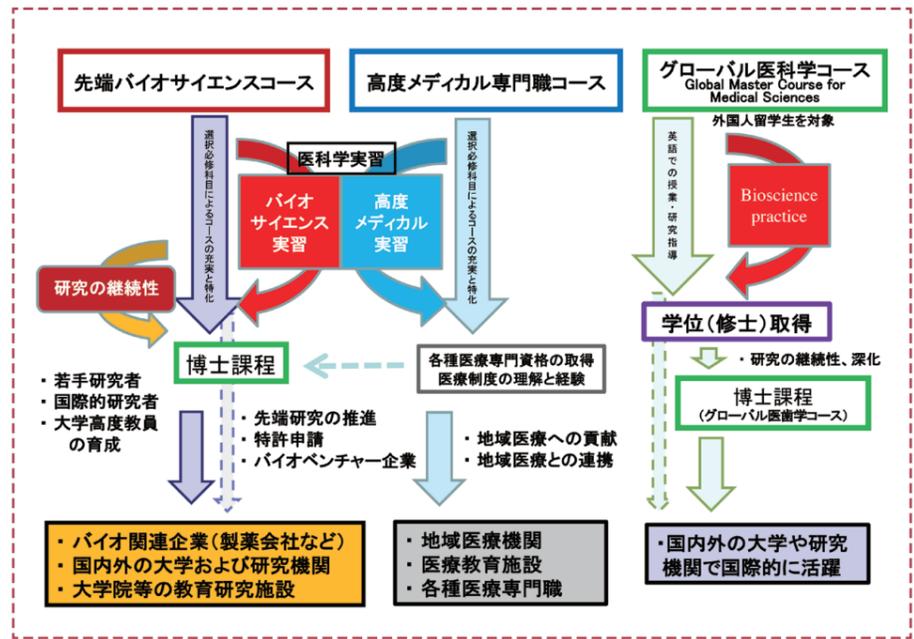
主として、博士課程に進学し、研究者を目指す学生のためのコースで、生命科学全般にわたる考え方・知識の向上及び先端研究技術の修得に重点を置いた教育指導を行います。

高度メディカル専門職コース

主として、医療専門職としての就職あるいは現職場でのスキルアップを目指す学生のためのコースで、医学・医療に直接関連する専門的知識の修得に重点を置き、コース修了後に指導的な立場で活躍できる人材を育成します。

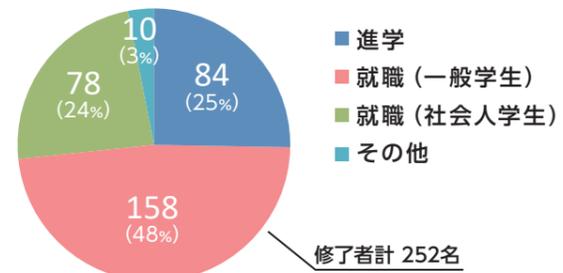
グローバル医科学コース

世界各国からの外国人留学生を対象とし、原則、英語での授業・研究指導により、修士(医科学)の学位が取得できます。



修了者の進路

医科学専攻を修了された方は大学院で培った問題解決能力や専門的知識を生かして、医療機関や教育機関、生命科学系企業を始めとする多様な職種で活躍しています。また、例年、数名の方が研究の継続を希望され、博士課程に進学しています。



一般学生の就職先・進学先内訳	修了者数	就職先・進学先
病院	42	鹿児島大学病院、鹿児島厚生連病院、その他医療機関
地方公務	6	鹿児島県、鹿児島市
大学	9	鹿児島大学、九州大学、沖縄科学技術大学院大学
医療製薬	11	実業之日本総合研究所、マクロン、新日本科学、旭化成ファーマ、化学及血清療法研究所、日新薬品工業、八十島プロシード、KCCS マネジメントコンサルティング、BREXA Technology、医療生協協同組合、鹿児島県環境保健センター、鹿児島医療技術専門学校、WDBエウレカ、日本新薬、KM バイオロジクス株式会社、アストラゼネカ
一般	9	
薬局	4	
商社	1	
派遣	3	
計	104	

先輩からのメッセージ

熱意を成長へと導く最高の環境

医歯学総合研究科(修士課程)医科学専攻 伊集院 広社(先端バイオサイエンスコース)

私は他大学の生物学部出身で、学部時代からがん治療薬の研究者を志していました。進学先を探す中で、医歯学総合研究科のHPをきっかけに修士課程の入学説明会へ参加し、現在所属する遺伝子治療・再生医学分野に出会いました。そこで、最先端のがん治療薬である「腫瘍溶解性ウイルス」の研究内容に深い感銘を受け、進学を決意しました。入学当初は、知識も技量も不足していましたが、教授をはじめ研究室の先生方や先輩方の丁寧かつ熱心なご指導のおかげで、大きく成長し、修士号を取得することができました。現在はさらなる高みを目指し、夢の実現に向けて、博士課程で研究に邁進しています。また、本研究科は支援制度も非常に充実しています。私自身、経済的な不安がありました。ティーチングアシスタントや給付型奨学金、授業料免除などを活用することで、研究に専念できる環境を確保できました。熱意があれば、成長できる舞台が整っています。皆さんもぜひ、医歯学総合研究科で新たな一歩を踏み出してみませんか。

臨床と研究をつなぐ視点を得た2年間

医歯学総合研究科(修士課程)医科学専攻 笠畑 拓志(高度メディカル専門職コース)

私は臨床検査技師として業務に従事する中で、「検査値の背後にある病態を深く理解したい」と考えるようになり、臨床と研究を往復できる環境に魅力を感じて修士課程へ進学しました。修士課程で得た最大の収穫は、研究の進め方とデータ解釈の視点です。臨床での「結果を読む」姿勢に加え、研究での「疑い、組み立て、検証する」思考を学んだことで、検査データの見え方が大きく変わりました。社会人進学には不安もありましたが、教授・准教授をはじめ研究室の先生方の支援のもと学びを継続することができました。大学院で培った視点や思考力は、現在の臨床業務において確かな財産となっています。臨床の現場では、教科書だけでは答えの見えない疑問に直面します。大学院は、そうした疑問と向き合い、その解決の方法を学べる非常に価値ある選択肢です。立場や経験に関わらず、学びへの挑戦に遅すぎることはありません。ぜひ新たな一歩を踏み出してみてください。